

「沖縄を知らう・学ぼう」



大田昌秀 元沖縄県知事の講演

金子 勝さんとの対談

日時：2014年**9**月**27**日（土）午後**1**時半～**5**時

会場：愛知大学記念会館 **3F** 駐車場あります

テーマ：憲法と沖縄の未来 ー伝えたい沖縄戦と戦後ー

資料代：**1000**円 チケット販売中（当日券は**1200**円）

プロフィールは裏面をご覧ください

大田 昌秀 さん



沖縄戦体験者（鉄血勤皇隊・千早隊）である大田氏は2013年12月7日、那覇市で開催された「『命どう宝』を継承、沖縄から日本へ、世界へ」で「いくら『命どう宝』と言っても憲法9条を変えられては沖縄が真っ先に犠牲になる。憲法を大事にすることが『命どう宝』を後世に伝える一番大きな力になる」と強調されています。

命どう宝（ぬちどうたから）とは、沖縄方言で「命こそ宝」という意味。

沖縄で反戦平和運動のスローガンとして用いられる。

金子 勝 さん



「いのち」を大切にする日本を築くために、日本国憲法「第九条」の非武装・非戦平和主義を基礎とする「平和的福祉国家」を創ろうではありませんか。

（2013年10月24日いのちを守る国民集会賛同メッセージ）

世界中に第九条を広め、すべての国の憲法に第九条を入れる運動につながることを願っております。一人ひとりが日本国憲法の語り部になろう！

主催：金子勝憲法講座実行委員会・愛知大学九条の会

連絡先：垣内暎恵(0532)64-3363 杉浦雄司(0532)62-0016 保木井秀雄(0532)62-3069

プロフィール

大田昌秀さん

【経歴】

- 1925 (大正 14) 年 6 月 沖縄県久米島具志川村 (現久米島町) に生れる。
1941 (昭和 16) 年 沖縄師範学校に入学。
1945 (昭和 20) 年 沖縄師範学校 2 年在学中に、鉄血勤皇隊の一員として沖縄守備軍・第 32 軍に動員される。同隊の情報宣伝部隊である「千早隊」に所属し、10 月に捕虜となって生還するまで、沖縄本島南部の日米最後の激戦場を生きる。
1954 (昭和 29) 年 早稲田大学を卒業し、米国シラキュース大学大学院に留学。ジャーナリズムを学ぶ。
1968 (昭和 43) 年 4 月 琉球大学社会学科教授となる。
1983 (昭和 58) 年 琉球大学法文学部長となる (～1985 年)。
1990 (平成 2) 年 12 月 沖縄県知事となり、1998 年まで 2 期 8 年、「平和」「沖縄の自立」「共生」を目標に全力を傾注する。
2001 (平成 13) 年 6 月 参議院議員となる (社民党～2007 年)。
2013 (平成 25) 年 4 月 特定非営利活動法人沖縄国際平和研究所設立。

【著書】

- ・沖縄のこころー沖縄戦と私 (1972 年) 岩波新書青版・徹底討論 沖縄の未来 (沖縄大学地域研究所叢書) 佐藤 優共著 (2010 年)・こんな沖縄に誰がした普天間移設問題ー最善・最短解決策 (2010 年)・沖縄の自立と日本ー「復帰」40 年の問いかけ大田昌秀、新川明、稲嶺恵一、新崎盛輝 (2013 年)、
『写真記録 沖縄戦ー国内唯一の“戦場”から“基地の島へ”ー』高文研(2014 年)

金子 勝さん

【経歴】

- 1944 年名古屋市出身。東京都世田谷区在住。
愛知大学法経学部法学科、同大学院法学研究科修了。法学者。
1971 年 立正大学教養部講師
1995 年 立正大学法学部教授 専門は憲法学、政治学、社会科学概論。
2014 年 3 月 立正大学 定年退職
2014 年 4 月 立正大学名誉教授

【著書】

- 社会科学の構造 (勁草書房、1986 年)・日本国憲法の原理と「国家改造構想」(勁草書房、1994 年)
社会科学の世界 (勁草書房、1999 年)・鈴木安蔵先生から受け継ぐ物ー鈴木安蔵、生誕百年記念シンポジウムの記録 (金子勝発行、2005 年)・「憲法？」共著 (本の泉社、2006 年)・
憲法の論理と安保の論理 (勁草書房、2013 年)



【賛同団体】 50 音順

- ・愛知県高等学校教職員組合東三河支部・九条の会 (愛知大学・奥三河・健生すこやか・とよかわ・東三河) コープあいち・国民救援会東三河支部・週刊金曜日東三河読者会・新日本婦人の会豊橋支部、新日本婦人の会豊川支部・豊橋演劇鑑賞会・豊川市職員労働組合・豊橋市職員労働組合・豊橋民主商工会・鳥居先生の公務災害認定を求める会・年金者組合豊橋・田原支部・東三河労働組合総連合・自由法曹団東三河支部・豊橋情報公開をすすめる会

【愛知大学記念会館・アクセス】

- ◆公共交通機関 新豊橋駅前から豊鉄渥美線「愛知大学前」まで 6 分 下車
愛知大学副門より会場の記念会館まで徒歩 1 分
- ◆自家用車 「時習館高校」の傍の「愛知大学正門」から入校
駐車場は記念会館会場の前